

令和3年度 第1回地域包括支援センター運営協議会 会議録

会議名	令和3年度 第1回 地域包括支援センター運営協議会
日時	令和3年8月2日(月) 14:00~16:00
場所	宇治市役所 8階 大会議室(傍聴は101会議室にてZoom視聴)
出席者	【委員】7名 空閑会長、中村副会長、村山委員、奥西委員、関戸委員、小松委員、山下委員
	【事務局】11名 【地域包括支援センター代表者】8名
	【傍聴者】一般:3名・報道関係者:1名
議題	1. 開会 2. 委嘱状交付 3. 市長挨拶 4. 正副会長の就任・挨拶 5. 自己紹介 6. 令和2年度 地域包括支援センターの運営状況について 7. 令和3年度 地域包括支援センターの運営について 8. 閉会
配布資料	・次第 ・地域包括支援センター運営協議会委員名簿 ・地域包括支援センター運営協議会設置規定 ・資料① 令和2年度 地域包括支援センター運営状況報告 ・資料② 令和3年度 地域包括支援センター事業計画

会議の経過・結果

1. 開会

2. 委嘱状交付

松村市長より各委員へ委嘱状を交付。

3. 市長挨拶

<市長退席>

4. 正副会長の就任・挨拶

正副会長の就任について第5条第2項の規定により推薦を募り、会長に空閑委員を、副会長に中村委員が推薦され、委員による拍手を以って就任の了承を得た。

5. 自己紹介(委員・事務局)

6. 令和2年度 地域包括支援センターの運営状況について

令和2年度 地域包括支援センター（以下「包括」とする）の運営状況について報告

事務局より報告【資料1】

《質疑・応答》

委員) 1点目は、圏域について、現在のように設定した基準は高齢者人口なのか相談件数なのか。

2点目は、職員配置状況について、何を基準にこの定数にしているのか。東宇治北包括は2名多く法人による独自配置をされていることや、ケアプランナー事務員が多い包括もある。そこに対して5年未満の新任ケアマネジャーを配置しているのか。その中から主任ケアマネジャーになる可能性があるのか、補助金はどうなっているのか。

3点目は、収支決算について資料①の18ページの南宇治包括の事業費支出が空欄になっているのはなぜか。減価償却費は全体的に空欄になっている。加えて、積立資金支出や事業区分間繰入金支出は宇治明星園に委託している南部・三室戸と北宇治は記載されているが、他圏域については記載されていないため、これについても教えていただきたい。

事務局) 圏域については、第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画において、包括の機能強化のため、圏域の見直しを協議した。圏域分けを行う範囲を、小学校区や中学校区など様々な範囲で検討した結果、小学校区単位で地域のつながりがあることがわかったため、既存の圏域をベースとしながら小学校圏域で見直すこととした。地域包括支援センターの職員配置については、国で高齢者人口6,000人までは専門3職種を1人ずつの3人を配置することになっている。市もこれをベースとし、7,000人までは3人、7,000人以上で1人増員、10,000人以上でさらに1人増員することとしている。収支決算については、南宇治包括の事業費支出は事務費支出に含まれている。南部・三室戸と北宇治の事業区分間繰入金支出は、法人の別部署としての繰入金ではなく地域包括支援センターとしての繰入金と記載している。

委員) ケアマネジャーが不足していると聞いているが、現状はどうなっているのかと、それに対する対策を教えていただきたい。

事務局) 居宅介護支援事業所のケアマネジャーがそれほど増えていない状態のため、委託を受けてくださる事業所が増えていない。令和3年度より居宅介護支援事業所へ委託をする場合、委託連携加算という加算が取れるようになった。

委員) ケアマネジャーが不足していることも考えて、よくこの人数で包括が仕事できているなと思っている。包括の人数を増やしていただかないと、民生委員なども包括に相談しにくいと感じるのではないかと。このままだと多方面に影響を及ぼすことになるため、本当にこのままでいいのか、行政のほうで検討していただきたい。

委員) ケアマネジャーが不足していることを改善しなければ、一人一人の仕事量が増えていき、

やめる人も出てくるだろう。対策していかないと、これが永遠に続いてしまうため、工夫して何か施策を打っていただきたい。

委員) 民生委員をしている中で、包括が増設されたということがありがたかったのだが、人材育成というところもより力を入れていただきたい。他市町村はどのように人材育成を行っているのかわからないが、その点も手厚くしていただきたい。

7. 令和3年度 地域包括支援センターの運営について

事務局・包括より報告【資料2】

《質疑・応答》

委員) その方に障害がある場合は関係機関につなげていくと思うが、お元気な方についてぜひ、昨年に復活した「あんど・ゆー」がなかなかいい成績を上げている。そちらの方につなげてほしい。また日頃の、地域の見守りに関しては庁内でも相談していただいて、何か良い方法を考えていただければと思う。

委員) ケアマネジャーの問題については今回初めてではなく以前からの問題であるため、この問題に対して行政として原因究明やこれからの対策を考えていたら教えていただきたい。

事務局) ケアマネジャーの人員不足の点については宇治市だけではなく、全国的な問題である。行政としては行政だけで考えるのではなく、今後引き続き包括、居宅介護支援事業所等を含めて連携を取りながら問題解決をしていきたいと考えている。現在、介護保険課では福祉人材研修やケアマネジャー勉強会ですでにケアマネジャーとなられている方に向けて様々な研修を実施している。また、事業所ごとの横のつながりを作り、課題を解決していこうという形で人材育成に向けて動いていくところである。すぐに解決できる問題ではないため、皆様のご協力、連携を取りながら対応していきたいと考えている。

委員) ケアマネジャーの不足についてだが、介護職として働きながら何度も受験したが、うまくいかず、結果あきらめてしまう事例もあった。ケアマネジャーになりたいと思い、受験を考えている人に対して、何か支援できるようなことがあれば検討していただけたらありがたい。

委員) 皆様が出していただいた課題は宇治市だけにあたるものではなく、他の地域や自治体でも問題とされていることであるため、他の地域でこういった取り組みをしているのか、あるいは、予算の配分の仕方や自治体独自でされていること等を研究的にもやっていくことが必要だと考える。それと、地域包括支援センター運営協議会の枠を超えるようなことになると思うので、庁内で連携して取り組んでいくことが必要ではないかと感じた。

8. 閉会